

学校法人内丸学園
盛岡幼稚園

園報

第279号
(5月)
2026

新体制、より充実を期して

学校法人内丸学園

理事長

坂本 洋

令和8年の新たな学年学級による第一学期を迎えました。子どもたちの元気な笑顔、活発な活動として夢中に遊びこむ姿にたのしみさを感じます。

この様な状況で、この度新園長、新副園長の就任体制となりました。二年前に元小学校長を歴任され、特別支援教育に精通された津川園長をお迎えしたのでしたが、一身上のご都合で三月をもって退職されることによります。この機会に当園職員として長年勤務され当園の創設以来の教育方針や経営理念の実施経験者の登用に踏み切り、吉田房子園長、田口千聖副園長の誕生就任です。

改めて当園の教育理念を振り返り、より充実を期す心情です。初代園長、ミセス・タッピング先生の幼稚園創設以来からの、一人ひとりの個性を大切にそこなわず、自発的な遊びが学びとなる関りを中心に、遊びの中に学びの本質となる育ちを大事にすることをモットーとして、加えてご家庭保護者との緊密な協働(当園の方針を理解して頂き同じ目線でご家庭でも対応を掲げて継承、強化されることを願っています。型にはめない個性尊重、子どもたちの自発的な遊びが学び、学びが遊び、そのために園と保護者との協働が不可欠であることが基本です。

学びは一般的に「知識や技能の習

得」を目的とする活動で意図的に計画目標に向かい行われる要素を持つてます。一方遊びは自由で自発的な活動で、楽しく喜んで遊びこむ自然な行動で子どもにとって夢中になり達成感を体得する欲求活動そのものです。一見して対立するようですが、むしろ幼児期における子ども遊びと学びを一体化、融合しなければなりません。

子どもにとって遊びは、夢中になり集中して遊びこむ経験として、五感を使い多様なことを学んでおり、好奇心、集中力、問題解決能力、創造性、協調性や思いやりなど「生きる力の基礎」を育み、学びに向かう力として伸びて欲しいことが目的です。

そして協働の充実のためには、ありのままの自分、今の自分自身を前向きに感じ自分の良いところだけでなく短所や失敗してしまうことも含め認められて、受容してもらえ安心感、自己肯定感の育ちに留意することが重要で、遊びが学びにとって極めて大事なこと

です。その育ちには、子どもと特定の養育者との情緒的な結びつきアタッチメントと呼ばれる愛着形成が土台であることを忘れてはなりません。

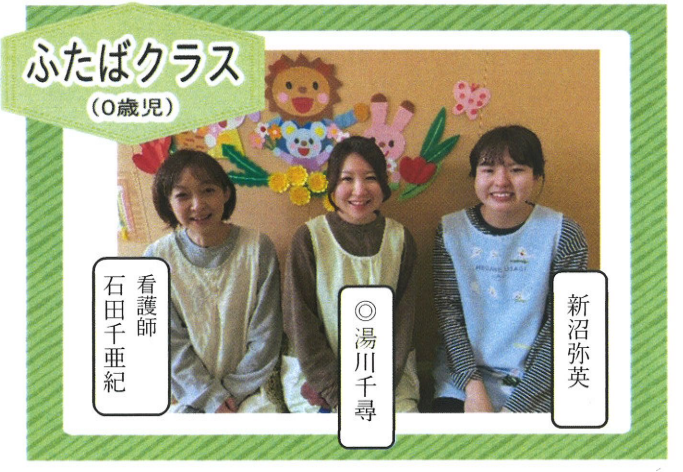
次代を担う子どもたちの更なる成長を願い、主体的に何かに熱中するたくさんの経験できる環境づくり、自分で考える力、課題へ向かい挑戦する心の育ちを応援してまいります。



「知事さんと鯉のぼり掲揚式」



令和8年度 職員紹介 (◎は学年主任)



就任挨拶

ともに学びあいながら
園長 吉田 房子



この4月より、盛岡幼稚園の園長を務めております。園長としての責任の重さを感じるとともに、身の引き締まる思いです。

私が盛岡幼稚園にお世話になりこれまでに幼児教育に携わる中で、多くの子ども達や保護者の皆さま、諸先輩方の出会いに恵まれてまいりました。新卒だった私に先輩方からは保育に対する姿勢や子どもへの接し方、保育の楽しさ、そして何よりも社会人として大切なことをご指導していただき、その一つ一つの経験が私にとって学びとなっております。

盛岡幼稚園では子ども一人ひとりの個性や思いを尊重し、安心して過ごせる環境づくりや子どもが主体的に遊び、学ぶ姿を支えていくことを大切にしております。これは保育者との信頼関係に支えられてこそ、子ども達は自分の可能性を追求していくことができ、心から信頼できる保育者との関係があればこそそのものであると考えております。そして、その過程を保護者の皆様と共有しあいながら、ともに子どもの成長を喜び合える関係を

築いていくことが大切な役割だと考えております。

当園の「遊びが学び」につながる上で教育・保育要領の5領域に加え、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」や小学校との円滑な接続をめざす「架け橋プログラム」等を意識した教育・保育に今後も努めてまいります。

子ども達の成長を支える中で同時に保育者である私たちも多くのことを学ばせて頂いております。園内研修や外部研修への積極的な参加や今年度は公開保育を通して日々の保育を振り返り、互いに学び合い、保育の質の向上に努めてまいります。この積み重ねが保育者自身の専門性の向上につながるのと同時に盛岡幼稚園の質の向上にもつながると考えております。

来年度には創立百二十周年という大きな節目を迎えます。これまで受け継がれてきた伝統と想いを大切にしながら、未来へとつながる保育を創ってまいります。保護者の皆さまと共に子どもの成長を喜び合える関係を大切にしたいと思っております。園であるよう今後も努めてまいります。職員一同、心をひとつに子どもの育ちを支えてまいります。

「子ども達の『やってみたい』を大切に」

副園長 田口 千聖

今年度が始まり、子ども達は期待と不安が入り混じりながらも、少しずつ園生活に慣れようと頑張っています。一つ大きくなって張り切っている年長さん。小さい子をお世話したい気持ちがあふれ、関わり方に戸惑いながらも自覚が芽生えている姿を毎日ほほえましく見えています。長い園生活の中で、笑顔で元気に登園できる日もあれば、涙が出てしまう日もあります。どの姿も大切な成長の一步と捉え、子どもの力を信じて送り出していただけだと思います。私自身、主幹保育教諭の時には全学年の子と関わる機会が多く、仲良くなれた嬉しさとともに、育ちのつながりの大切さを実感しました。四月から副園長となり、改めて本園の良さを考えてみますと、子どもが自分でやりたいことを見つけ、好きな遊びを楽しむこと、そして、異年齢の関わりから育つ力を大切にしていることだと思います。

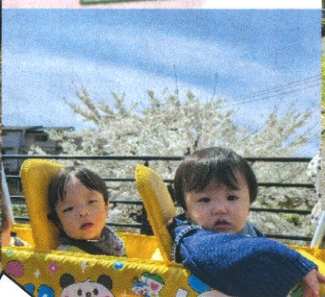
今年度の園内研修のテーマを「保育を開き、学び合う」とし、七月と十月に公開保育を計画しております。夢中になって遊ぶ中に「やってみたい」「もっとやりたい」という気持ちがたくさん詰まっております。その積み重ねが子ども達の育ちにつながっていきます。遊びの中で気づき、考え、工夫する姿から、他園の先生方の様々な評価やご意見をいただき、職員みんなで学び合い、向上していきたいと考えております。



「ぼくがやってあげるね…」



散歩



満開の石割桜や
中央通りの桜を見に、
お散歩に行ってきました！

誕生会



保育部と幼稚園部どちらでも
4月生まれのお友達の
誕生日をお祝いしました！



こいのぼり掲揚式

いっぱい練習した
ダンスも披露して
きました！



岩手県庁で行われた
こいのぼり掲揚式に
Aクラスが招待され、
参加してきました！

いちごクラスの子
どもたちも
見学に行きました！
達増知事にも声を
掛けていただきました！



最近の子ども達の様子

八園式



どきどきで入園式に臨む
Cクラスの子も達。
Aクラスも園歌を披露して
くれました！



保育部でも入園を
お祝いしました！

AクラスとBクラスの
子どもたちは始業式に
参加しました！
真剣に話を聞いています。

八園を祝う会(保育部)



始業式



嬉らし保育中...



子どもたちに向けて
職員紹介も行いました！

新しい場所、
新しい先生、
新しいことだらけで
どきどきしている
保育部の子ども達です。

ふたば会より

「考えすぎず、気楽に」
ふたば会会長 内宮 芽美

園報に載せるので原稿お願いします、内容は自由です！と依頼を受けてから、どうしよう…ネタがない…ネタを探さねば…と思いながら過しました。この時に限って何も起きず平和な日々が続くんですよ。会長らしく真面目なことを書いてみるか？と考えましたが、私自身がそんなキャラじゃないのでさっぱり思い浮かばず…。いこそこのこと、今のありのままの本心を書こうじゃないか！と軽い気持ちで考え始めたら意外とスラスラ書けちゃったもので。このような原稿に限らずですが、日常生活においても、考えすぎず、気楽に構える気持ちを大事にしていきたいなと思いました。



新任教職員より

一月からお世話になっております。子どもたちから「これどうやって作ったの?」「おいしい!」「また作って!」と笑顔で言われると頑張ったと思う日々です。

給食の時間が楽しいと思えるようなメニューづくりや食育活動をしていきたいと考えております。至らぬ点もあるかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。



～ 栄養教諭 梶山 映美 ～

盛岡幼稚園で子どもたちの成長に携われることを嬉しく感じております。

未熟な部分もありますが、つぼみクラスの子たちと一緒に私自身も成長して参りたいと思います。一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、安心して過ごせる環境作りを大切にしていきたいです。

よろしくお願い致します。



～ つぼみクラス担任 一本松 愛莉 ～

こどものつぶやき～日常のエピソード～



☆ おなかが痛い?! ☆

朝から雨が降っていたある日。昼頃に雨がやんだ空を見てSちゃんが一言。
Sちゃん「雨、いなくなったね。」
Tがあいづちをうつとすかさず
Sちゃん「雨、おなかが痛い痛いになって、もう雨ふれない～! って帰っちゃったんじゃない?」

降っていた雨がやむ=雨が病気という面白い発想をしていたSちゃんなのでした



=Bクラス=

☆ こんなところにも ☆

鯉のぼり掲揚式が終わって子ども達が遊んでいた時のこと。

指先にささくれができてしまったWちゃんが、先生に絆創膏を貼ってほしいと言ってきました。

先生が指に絆創膏を巻こうとしたら絆創膏同士がくっついてしまい旗のような形に!

慌てた先生にWちゃんがナイスな一言。「うわあ～、こいのぼりみたい♡」



その言葉にちよっぴり救われた先生でした。

= Aクラス =

学校法人 内丸学園
幼保連携型認定こども園
盛岡幼稚園
盛岡市中央通一六―四七
TEL 六三―三三〇一
理事長 坂本 洋